

地域医療提供体制データ分析チーム構築支援事業

資料 5

▶ 事業内容

- ・ 地域医療構想の推進にあたって、和歌山県内の各地域における様々な医療需要の現状把握と将来推計を行う
- ・ 事業の実施にあたっては、厚生労働省補助事業を活用
(補助事業はR 6 年度単年であるが、R 7 年度も申請予定)

▶ 事業体制

分析項目検討チーム



地域医療構想
アドバイザー

病院関係者

保健所長会会長

データ分析チーム



京都大学

- ・ レセプト関連データを用いた分析
- ・ 医師等医療従事者に関する分析



和歌山県立
医科大学

- ・ 救急搬送データを用いた分析



和歌山県庁

分析目標

2040年にむけて持続可能な和歌山県の医療の姿を明らかにする

県民一人一人が、医療や介護を必要とする状態になっても、できる限り住み慣れた地域で安心して生活を継続し、その地域で人生の最期を迎えることができる環境が整っていること

▶ 目指す姿

● 二次医療圏内で急性期の一部・回復期・慢性期・在宅医療・外来医療が完結できる

- 県民に医療が必要となった際、本人・家族が現在の生活を維持しながら、医療サービスを楽しむことができる
- 自宅あるいは介護施設における看取りが、住み慣れた地域で完結すること

※ 高度急性期・急性期について、和歌山県内で完結できる

- 急性期、特に高度急性期医療の際、病病・病診連携により、適切な時期に住み慣れた地域（二次医療圏内）へサービスを円滑に移行させる仕組みがある

▶ 主な課題

● 医療の需要と供給にギャップが生じる

- 人口構造の変化に伴う医療需要の変化に対応する必要がある

● 医療・介護スタッフ（供給）の減少

- 少ない供給で、多くの需要に対応する方法を見つけ出す必要がある

今回は、入院に係る
分析結果を報告
(K D B データ分析)

県内入院患者における

- ① 疾患割合
- ② 居住市町村ごとの医療圏完結率

二次医療圏ごとの地区診断を実施

国保（KDB）レセプトデータの分析について

●国保（KDB）レセプトデータの内容

対象：国民健康保険、後期高齢者医療制度に加入している県民

加入者数：385,859人【2023(R5)年3月末時点】（2024年4月1日の県人口比43%）

診療実施月：2017(H27)年4月～2023(R5)年3月

●疾患の定義

レセプトの傷病名のうち、以下の優先順で傷病名コードの1つを代表する疾患として選定し、ICD-10コードに置き換え（ICD-10について詳細は次ページ）

【1】主傷病

【2】疑い傷病名ではない

【3】レセプトの中で傷病名の算定順が早い

※1 エピソードにつき1つの傷病を代表する疾患として選定するため、複数の病態がある場合も代表する傷病1つのみを選定

（例）「高血圧と糖尿病を合併している症例」「肺癌で入院し敗血症で治療した症例」の場合、上記の優先順位で1つの病名を代表とする

●入院件数の定義

患者が病院の建物に入って手続きをして、出ていく時までを1入院としてカウント（1レセプト≠1入院）

※数カ月にわたる入院は、複数レセプトを組み合わせる1入院とする

（例）癌治療で、毎月5日間入院を3か月繰り返す場合は、3か月分を集計して1入院とする

※現在、データの精査を京都大学で実施中

（今回、発表を行う結果は現時点のものであり、未確定のものとなります）

ICD（国際疾病分類）とは

※厚生労働省作成「ICDのABC」より抜粋

世界保健機関（WHO）は、保健医療福祉分野の統計について国際比較を可能とするため、複数の国際統計分類を作成し、その中心分類の一つとして、ICD（国際疾病分類）を位置付けている。

ICD（国際疾病分類）の正式な名称は「疾病及び関連保健問題の国際統計分類：International Statistical Classification of Diseases and Related Health Problems」といい、疾病、傷害及び死因の統計を国際比較するためWHOから勧告された統計分類である。

日本では統計法に基づき「疾病、傷害及び死因の統計分類」と定められており、我が国におけるICD-10は「ICD-10（2013年版）準拠」が適用されている。

ICD-10（2013年版）準拠 基本分類

第1章	感染症及び寄生虫症（A00－B99）
第2章	新生物＜腫瘍＞（C00－D48）
第3章	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害（D50－D89）
第4章	内分泌、栄養及び代謝疾患（E00－E90）
第5章	精神及び行動の障害（F00－F99）
第6章	神経系の疾患（G00－G99）
第7章	眼及び付属器の疾患（H00－H59）
第8章	耳及び乳様突起の疾患（H60－H95）
第9章	循環器系の疾患（I00－I99）
第10章	呼吸器系の疾患（J00－J99）
第11章	消化器系の疾患（K00－K93）
第12章	皮膚及び皮下組織の疾患（L00－L99）
第13章	筋骨格系及び結合組織の疾患（M00－M99）
第14章	腎尿路生殖器系の疾患（N00－N99）
第15章	妊娠、分娩及び産後＜褥＞（O00－O99）
第16章	周産期に発生した病態（P00－P96）
第17章	先天奇形、変形及び染色体異常（Q00－Q99）
第18章	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの（R00－R99）
第19章	損傷、中毒及びその他の外因の影響（S00－T98）
第20章	傷病及び死亡の外因（V01－Y98）
第21章	健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用（Z00－Z99）
第22章	特殊目的用コード（U00－U99）

国保レセプトデータにおける
疾患別入院患者の状況について
以下の分類・順序で分析

【1】ICD-10 基本分類の「第1章～第22章」
（左図）



【2】ICD-10 疾病分類表の「中分類」
（詳細は次ページ）



【3】「傷病名称」

分類名			
1章	感染症及び寄生虫症	11章	消化器系の疾患
	①腸管感染症 ②結核 ③主として性的伝播様式をとる感染症 ④皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス疾患 ⑤ウイルス肝炎 ⑥その他のウイルス疾患 ⑦真菌症 ⑧感染症及び寄生虫症の続発・後遺症 ⑨その他の感染症及び寄生虫症		う蝕 歯肉炎及び歯周疾患 その他の歯及び歯の支持組織の障害 胃潰瘍及び十二指腸潰瘍 胃炎及び十二指腸炎 アルコール性肝疾患 慢性肝炎（アルコール性のものを除く） 肝硬変（アルコール性のものを除く） その他の肝疾患 胆石症及び胆のう炎 膵疾患 その他の消化器系の疾患
2章	新生物	12章	皮膚及び皮下組織の疾患
	①胃の悪性新生物 ②結腸の悪性新生物 ③直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物 ④肝及び肝内胆管の悪性新生物 ⑤気管、気管支及び肺の悪性新生物 ⑥乳房の悪性新生物 ⑦子宮の悪性新生物 ⑧悪性リンパ腫 ⑨白血病 ⑩その他の悪性新生物 ⑪良性新生物及びその他の新生物		①皮膚及び皮下組織の感染症 ②皮膚炎及び湿疹 ③その他の皮膚及び皮下組織の疾患
3章	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	13章	筋骨格系及び結合組織の疾患
	①貧血 ②その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害		炎症性多発性関節障害 関節症 脊椎障害（脊椎症を含む） 椎間板障害 頸腕症候群 腰痛症及び坐骨神経痛 その他の脊柱障害 肩の傷害＜損傷＞ 骨の密度及び構造の障害 その他の筋骨格系及び結合組織の疾患
4章	内分泌、栄養及び代謝疾患	14章	腎尿路生殖器系の疾患
	甲状腺障害 糖尿病 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患		①糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患 ②腎不全 ③尿路結石症 ④その他の腎尿路系の疾患 ⑤前立腺肥大（症） ⑥その他の男性生殖器の疾患 ⑦月経障害及び閉経周辺期障害 ⑧乳房及びその他の女性生殖器の疾患
5章	精神及び行動の障害	15章	妊娠、分娩及び産じょく
	①血管性及び詳細不明の認知症 ②精神作用物質使用による精神及び行動の障害 ③統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害 ④気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む） ⑤神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害 ⑥知的障害＜精神遅滞＞ ⑦その他の精神及び行動の障害		①流産 ②妊娠高血圧症候群 ③単胎自然分娩 ④その他の妊娠、分娩及び産じょく
6章	神経系の疾患	16章	周産期に発生した病態
	①パーキンソン病 ②アルツハイマー病 ③てんかん ④脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群 ⑤自律神経系の障害 ⑥その他の神経系の疾患		①妊娠及び胎児発育に関連する障害 ②その他の周産期に発生した病態
7章	眼及び付属器の疾患	17章	先天奇形、変形及び染色体異常
	①結膜炎 ②白内障 ③屈折及び調節の障害 ④その他の眼及び付属器の疾患		①心臓の先天奇形 ②その他の先天奇形、変形及び染色体異常
8章	耳及び乳様突起の疾患	18章	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの
	①外耳炎 ②その他の外耳疾患 ③中耳炎 ④その他の中耳及び乳様突起の疾患 ⑤メニエール病 ⑥その他の内耳疾患 ⑦その他の耳疾患	19章	損傷、中毒及びその他の外因の影響
9章	循環器系の疾患		骨折 頭蓋内損傷及び内臓の損傷 熱傷及び腐食 中毒 その他の損傷及びその他の外因の影響
	高血圧性疾患 虚血性心疾患 その他の心疾患 くも膜下出血 脳内出血 脳梗塞 脳動脈硬化（症） その他の脳血管疾患 動脈硬化（症） 痔核 低血圧（症） その他の循環器系の疾患	21章	健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用
10章	呼吸器系の疾患		①検査及び診査のための保健サービスの利用者 ②予防接種 ③正常妊娠及び産じょくの管理並びに家族計画 ④歯の補てつ ⑤特定の処置（歯の補てつを除く）及び保健ケアのための保健サービスの利用者 ⑥その他の理由による保健サービスの利用者
	急性鼻咽頭炎〔かぜ〕＜感冒＞ 急性咽頭炎及び急性扁桃炎 その他の急性上気道感染症 肺炎 急性気管支炎及び急性細気管支炎 アレルギー性鼻炎 慢性副鼻腔炎 急性又は慢性と明示されない気管支炎 慢性閉塞性肺疾患 喘息 その他の呼吸器系の疾患	22章	特殊目的用コード
			①重症急性呼吸器症候群〔SARS〕 ②その他の特殊目的用コード

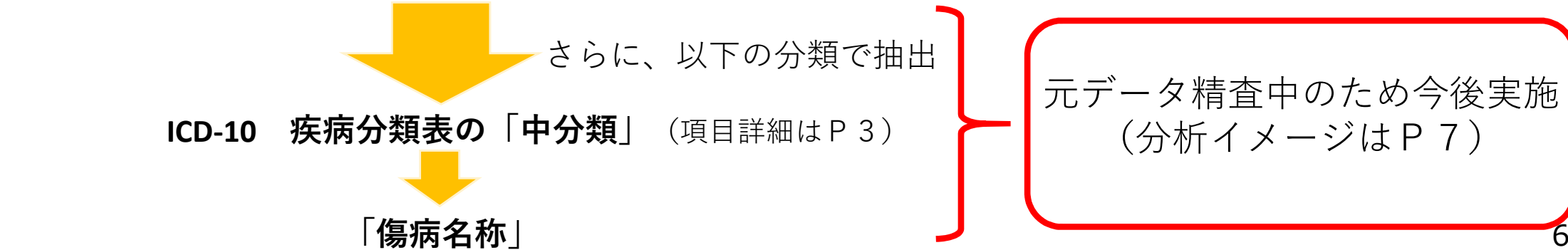
●割合（年齢階層別ごとの割合と全体での割合）

章番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	
患者 年齢階層	感染症及 び寄生虫 症	新生物 <腫瘍>	血液及び 造血器の 疾患並び に免疫構 造の障害	内分泌、 栄養及び 代謝疾患	精神及び 行動の障 害	神経系の 疾患	眼及び付 属器の疾 患	耳及び乳 腺突起の 疾患	循環器系 の疾患	呼吸器系 の疾患	消化器系 の疾患	皮膚及び 皮下組織 の疾患	筋骨格系 及び結合 組織の疾 患	腎尿路生 殖器系の 疾患	妊娠、分 娩及び産 じょく	周産期に 発生した 病態	先天奇 形、変形 及び染色 体異常	症状、徴 候及び異 常臨床所 見・異常 検査所見 で他に分 類されな いもの	損傷、中 毒及びそ 他の外 因の影響	傷病及 び死亡 の外因	健康状態 に影響を 及ぼす要 因及び保 健サービ スの利用	特殊 目的用 コード	空白 (なし)
0～14歳	4.7%	1.5%	1.1%	5.3%	0.6%	2.1%	1.6%	1.8%	1.2%	16.2%	4.6%	6.2%	2.1%	1.8%	0.1%	24.2%	4.5%	7.1%	9.8%	0.0%	0.3%	2.9%	0.2%
15～64歳	2.2%	7.3%	2.3%	7.2%	6.9%	4.1%	1.9%	0.5%	7.8%	4.7%	15.9%	2.2%	6.9%	5.7%	3.2%	0.1%	0.4%	7.4%	9.1%	0.0%	2.2%	1.9%	0.2%
65～74歳	1.7%	8.8%	2.0%	8.1%	1.7%	3.3%	3.9%	0.4%	12.2%	4.6%	17.3%	1.7%	8.5%	5.6%	0.0%	0.0%	0.1%	7.2%	8.3%	0.0%	3.9%	0.5%	0.1%
75～84歳	1.6%	6.4%	2.0%	7.7%	1.8%	3.6%	4.1%	0.3%	14.4%	5.6%	13.7%	1.5%	10.4%	5.7%	0.0%	0.0%	0.1%	6.8%	9.8%	0.0%	3.8%	0.6%	0.1%
85歳～	1.7%	3.6%	2.2%	7.0%	2.9%	3.4%	2.0%	0.2%	18.0%	8.6%	9.4%	1.5%	11.0%	5.7%	0.0%	0.0%	0.1%	7.2%	12.3%	0.0%	2.2%	1.0%	0.1%
合計	1.7%	6.2%	2.1%	7.5%	2.6%	3.5%	3.2%	0.4%	14.0%	6.2%	13.5%	1.7%	9.6%	5.6%	0.4%	0.3%	0.2%	7.1%	10.0%	0.0%	3.2%	0.9%	0.1%
【参考】患者数	9,097	32,303	10,941	39,159	13,709	18,341	16,662	1,855	72,833	32,231	70,250	8,873	50,045	29,226	1,885	1,434	892	36,940	52,204	※	16,500	4,462	452

※表記は10以下の数字

全体割合の上位6分類

章番号	9	11	19	13	4	11
分類見出し	循環器系の疾患	消化器系の疾患	損傷、中毒及び その他の外因の影響	筋骨格系及び 結合組織の疾患	内分泌、栄養及び 代謝疾患	呼吸器系の疾患
割合	14.0%	13.5%	10.0%	9.6%	7.5%	6.2%
【参考】患者数	72,833	70,250	52,204	50,045	39,159	32,231



ICD-10基本分類「9章 循環器系の疾患」内訳 (ICD-10疾病分類表「中分類」で表示)

●割合（年齢階層別ごとの割合・全体での割合）

※KDBレセプト（2017年～22年度）をもとに県医務課で作成

患者 年齢階層	循環器系の 疾患	その他の心疾患	高血圧性疾患	脳梗塞	虚血性心疾患	その他の循環器系の疾患	脳内出血	その他の脳血管疾患	動脈硬化（症）	くも膜下出血	その他
0～14歳	72	66.7%	5.6%	0.0%	1.4%	13.9%	1.4%	2.8%	0.0%	0.0%	8.3%
15～64歳	4,570	24.7%	31.2%	9.3%	8.1%	11.3%	7.2%	4.5%	1.4%	1.4%	0.9%
65～74歳	14,804	25.7%	32.8%	12.5%	9.6%	7.8%	4.2%	4.2%	1.6%	1.0%	0.6%
75～84歳	27,062	29.9%	30.0%	15.1%	9.1%	6.4%	3.4%	3.4%	1.4%	0.7%	0.6%
85歳～	26,325	36.1%	29.4%	15.9%	7.5%	4.0%	2.7%	2.4%	1.2%	0.4%	0.5%
合計	72,833	31.0%	30.4%	14.5%	8.6%	6.1%	3.5%	3.3%	1.4%	0.7%	0.6%
【参考】患者数		22,574	22,151	10,535	6,231	4,462	2,578	2,377	993	527	407

●「循環器系の疾患」のICD-10疾病分類（中分類）上位4分類の傷病内訳（主なもの）

①その他の心疾患

患者 年齢階層	その他の 心疾患	心不全	慢性心不全	うっ血性心 不全	細動脈性心 不全	その他
0～14歳	48	6.3%	10.4%	14.6%	0.0%	68.8%
15～64歳	1,131	14.9%	11.5%	10.9%	6.2%	50.6%
65～74歳	3,812	16.6%	13.0%	14.7%	9.0%	46.7%
75～84歳	8,080	16.6%	15.4%	15.7%	9.9%	42.3%
85歳～	9,503	17.9%	19.8%	18.3%	8.4%	35.6%
合計	22,574	17.1%	16.7%	16.7%	8.9%	40.7%
【参考】患者数		3,852	3,760	3,765	2,014	9,183

②高血圧性疾患

※表記は10以下の数字

患者 年齢階層	高血圧性 疾患	高血圧症	高血圧性緊急症	その他
0～14歳	※	50.0%	25.0%	25.0%
15～64歳	1,425	92.1%	4.6%	3.2%
65～74歳	4,860	93.9%	3.3%	2.8%
75～84歳	8,125	94.8%	2.9%	2.3%
85歳～	7,737	96.3%	1.7%	2.0%
合計	22,147	94.9%	2.7%	2.4%
【参考】患者数		21,031	596	524

③脳梗塞

患者 年齢階層	脳梗塞	脳梗塞	脳梗塞	ラクナ	心原性	アテローム血栓性	その他
0～14歳	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
15～64歳	423	35.5%	9.7%	11.3%	4.0%	12.1%	27.4%
65～74歳	1,847	34.5%	11.4%	10.8%	6.2%	7.8%	29.2%
75～84歳	4,088	35.1%	15.3%	8.8%	7.8%	6.7%	26.4%
85歳～	4,177	35.7%	18.3%	6.9%	9.4%	5.9%	23.8%
合計	10,535	35.3%	15.6%	8.5%	8.0%	6.8%	25.9%
【参考】患者数		3,715	1,643	895	840	714	2,728

④虚血性心疾患

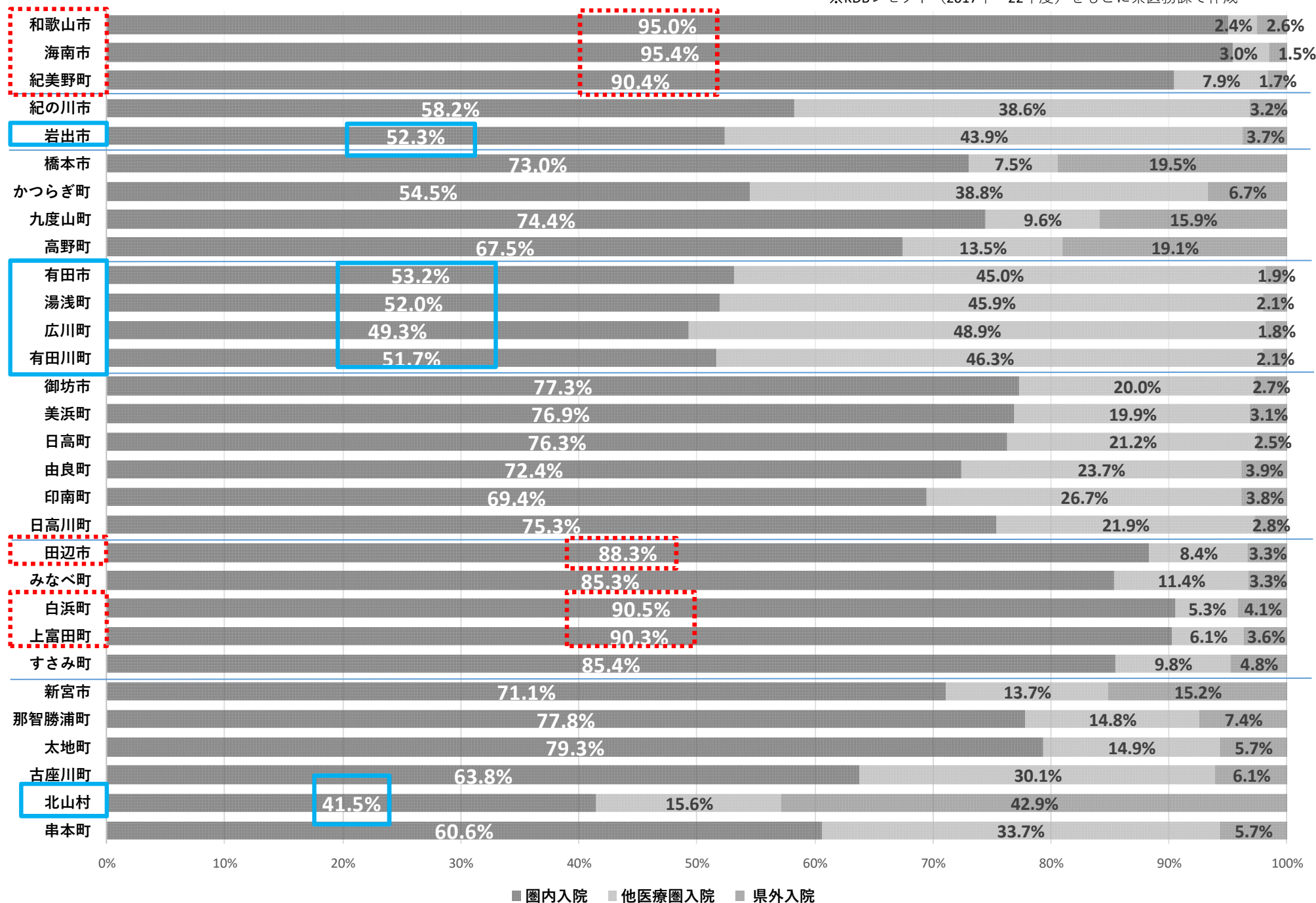
患者 年齢階層	虚血性 心疾患	狭心症	陳旧性	労作性	不安定	心筋 梗塞	その他
0～14歳	※	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
15～64歳	369	35.0%	9.8%	10.3%	11.7%	2.4%	30.9%
65～74歳	1,418	41.7%	10.0%	12.4%	9.4%	4.7%	21.7%
75～84歳	2,463	47.9%	10.4%	10.9%	6.3%	4.3%	20.2%
85歳～	1,980	53.1%	9.0%	6.4%	4.5%	6.2%	20.9%
合計	6,230	47.4%	9.8%	9.8%	6.7%	4.9%	21.4%
【参考】患者数		2,953	612	609	420	303	1,334

詳細分析イメージ
(数字はサンプルです)

国保・後期高齢加入者居住地ごとの入院先医療機関における医療圏割合

※KDBレセプト（2017年～22年度）をもとに県医務課で作成

未確定



圏内入院
上位 20 %

圏内入院
下位 20 %

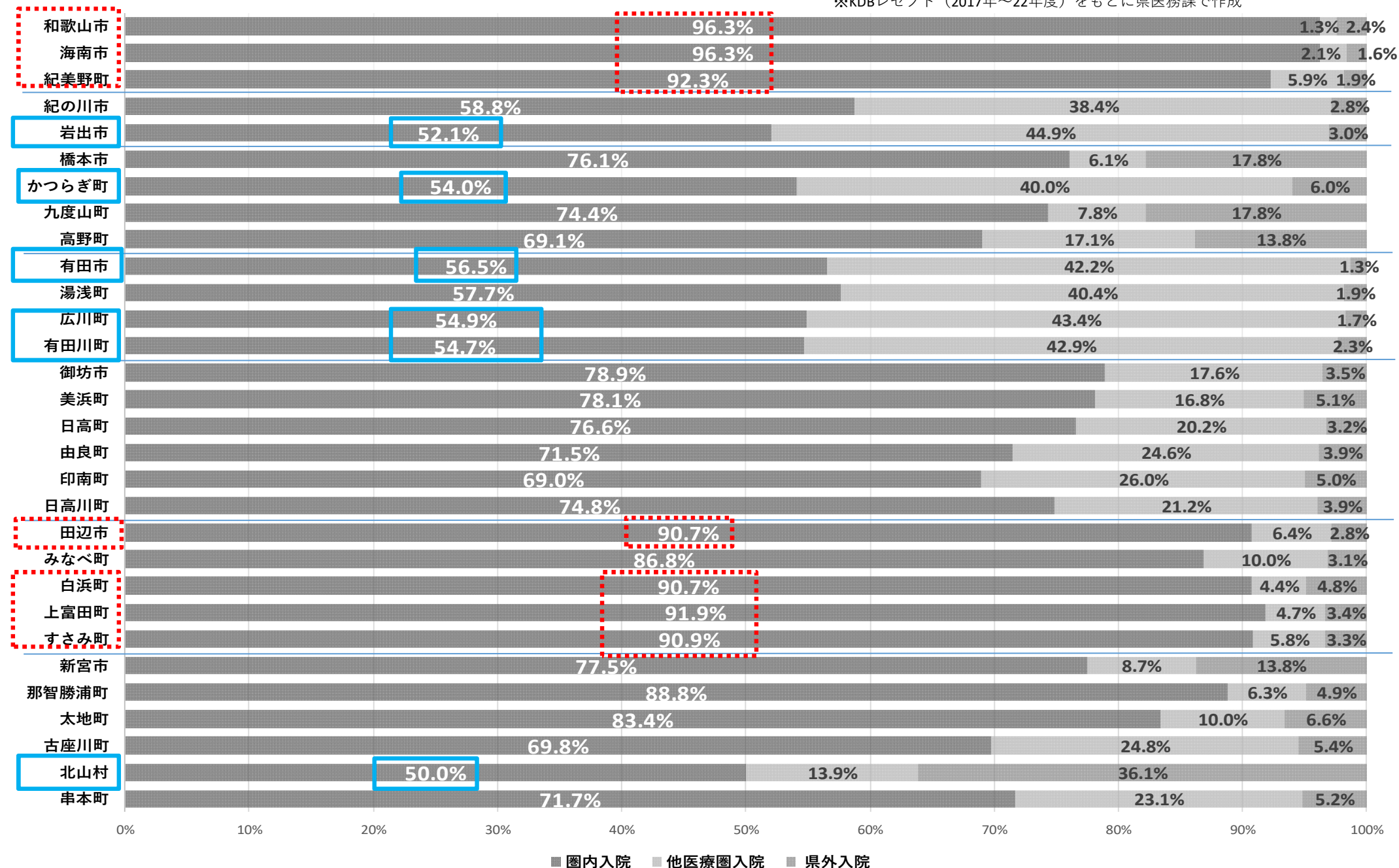
■ 圏内入院 ■ 他医療圏入院 ■ 圏外入院

【全体割合1位】

循環器系の疾患における入院先医療機関の医療圏割合

未確定

※KDBレセプト（2017年～22年度）をもとに県医務課で作成



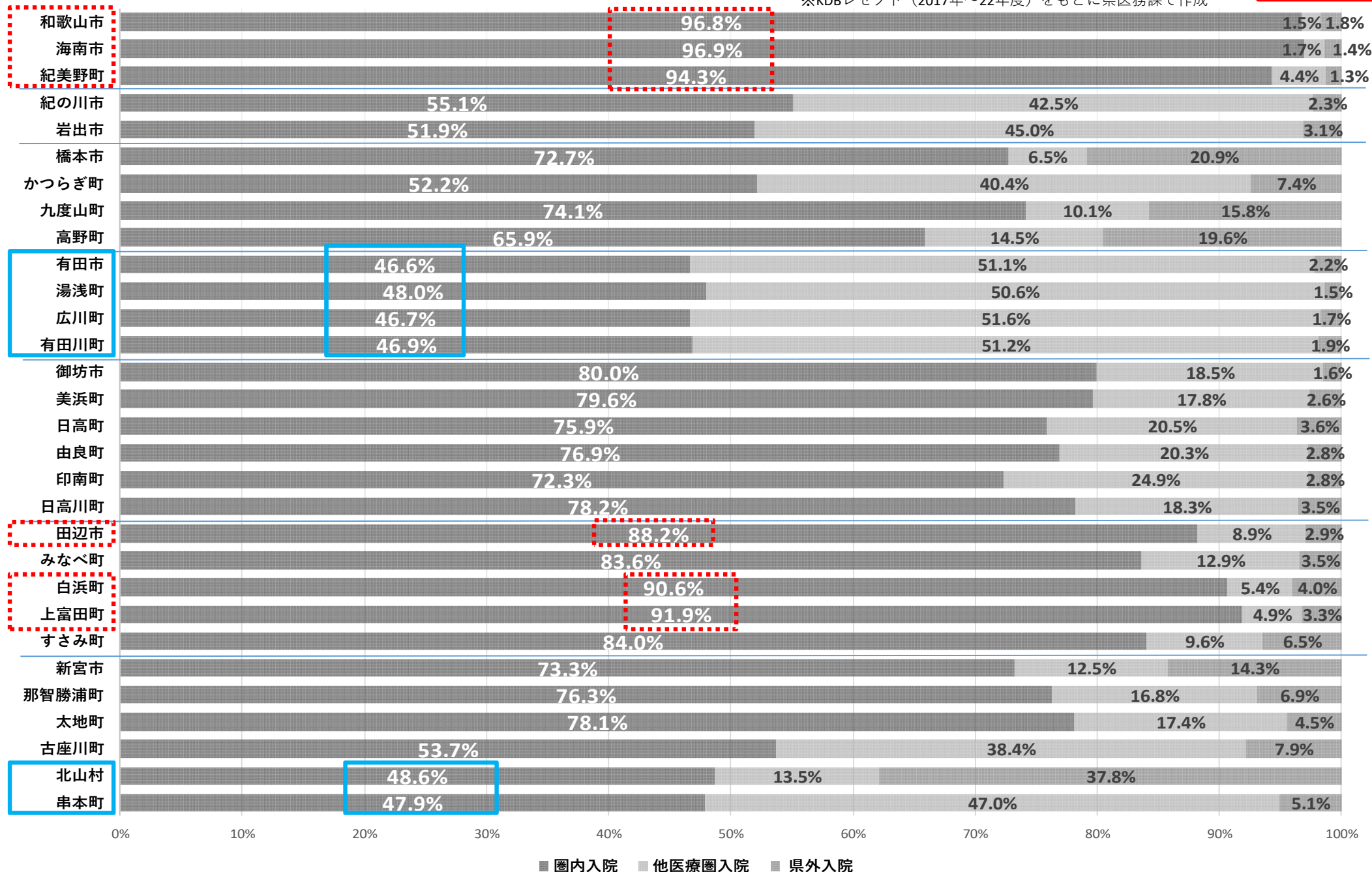
●ICD-10基本分類における割合が14.0%（1位）

【全体割合2位】

消化器系の疾患における入院先医療機関の医療圏割合

未確定

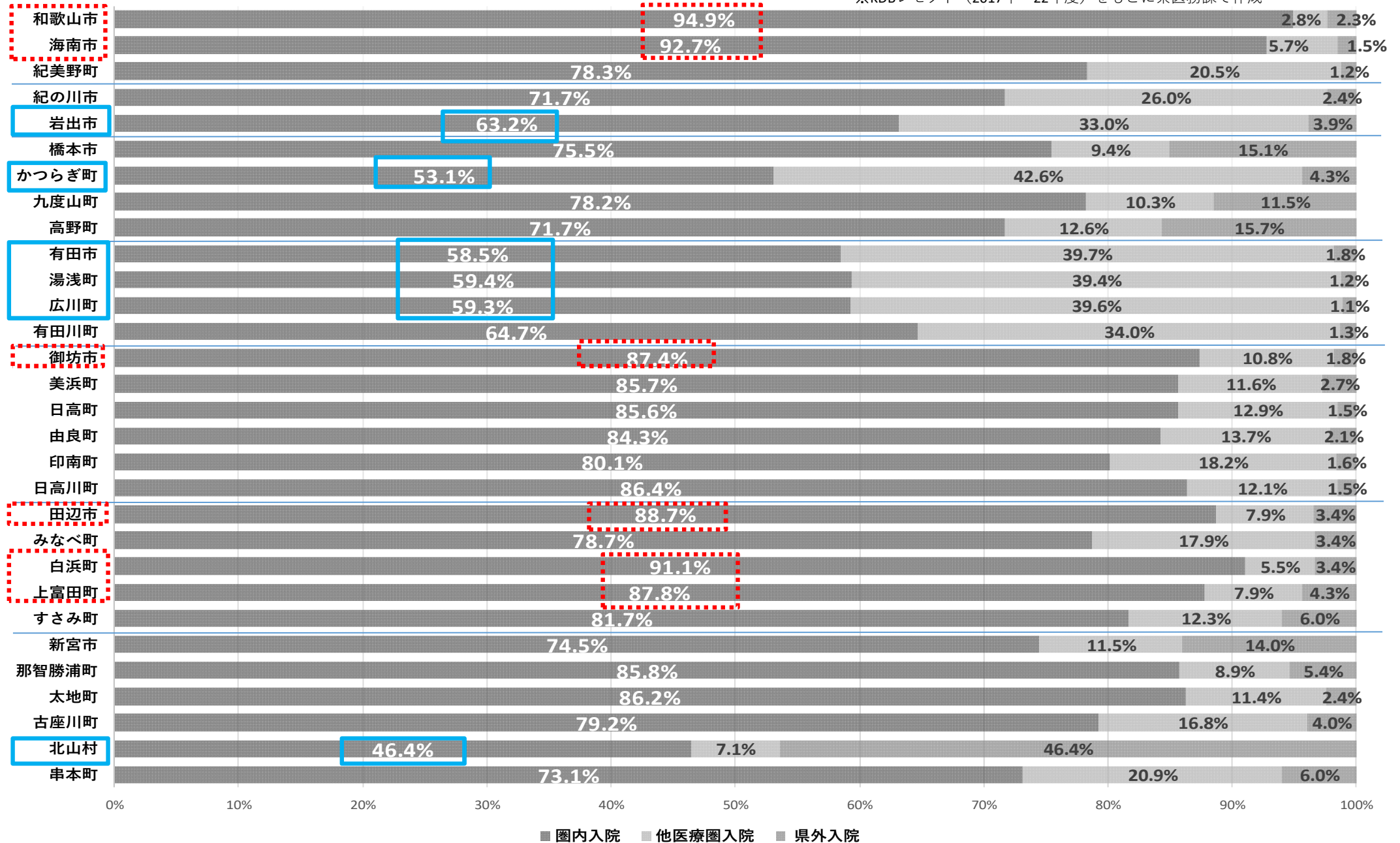
※KDBレセプト（2017年～22年度）をもとに県医務課で作成



●ICD-10基本分類における割合が13.5%（2位）

【全体割合3位】 損傷、中毒及びその他の外因の影響における入院先医療機関の医療圏割合

※KDBレセプト（2017年～22年度）をもとに県医務課で作成



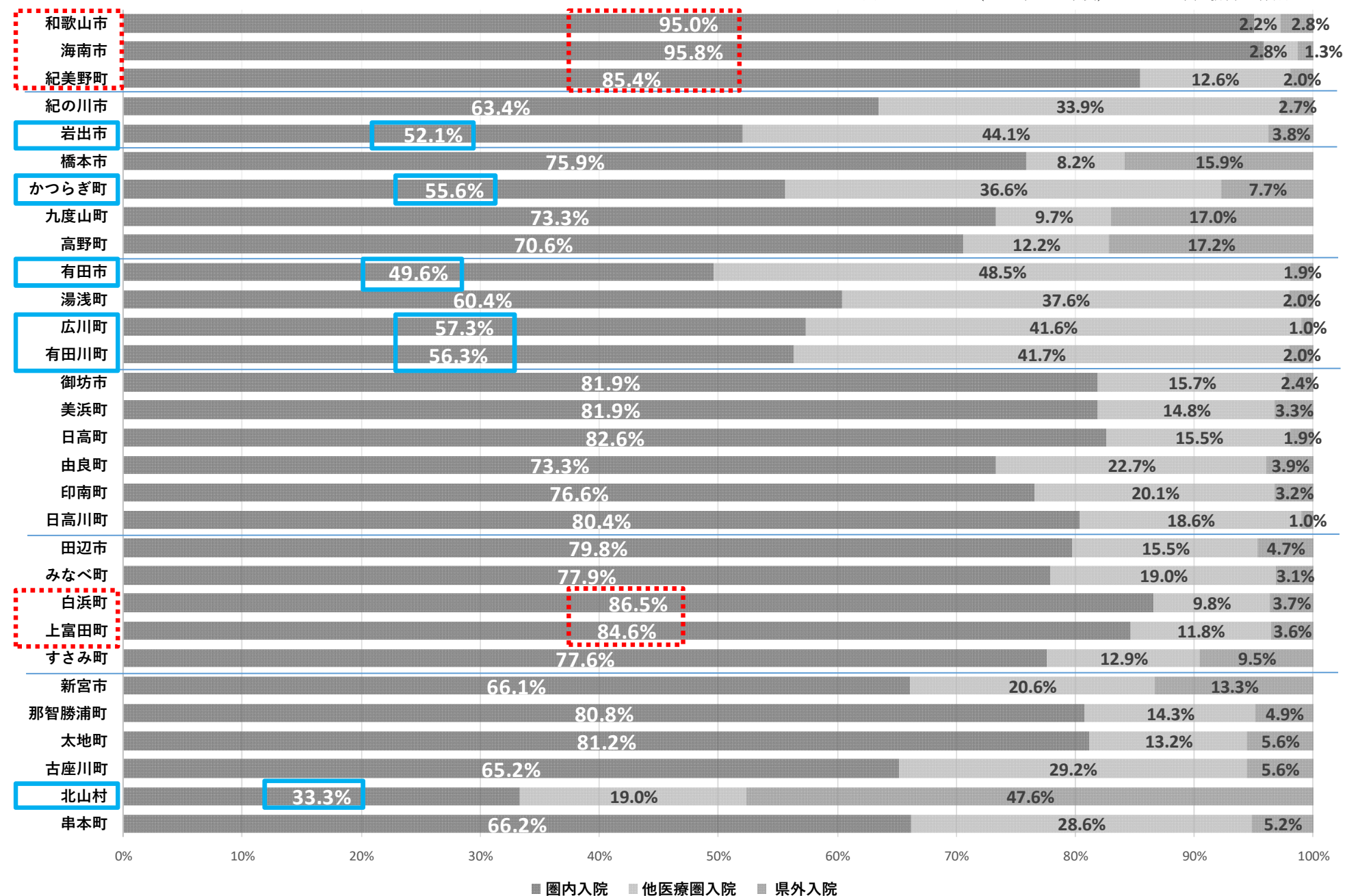
●ICD-10基本分類における割合が10.0%（3位）

【全体割合4位】

筋骨格系及び結合組織の疾患における入院先医療機関の医療圏割合

※KDBレセプト（2017年～22年度）をもとに県医務課で作成

未確定



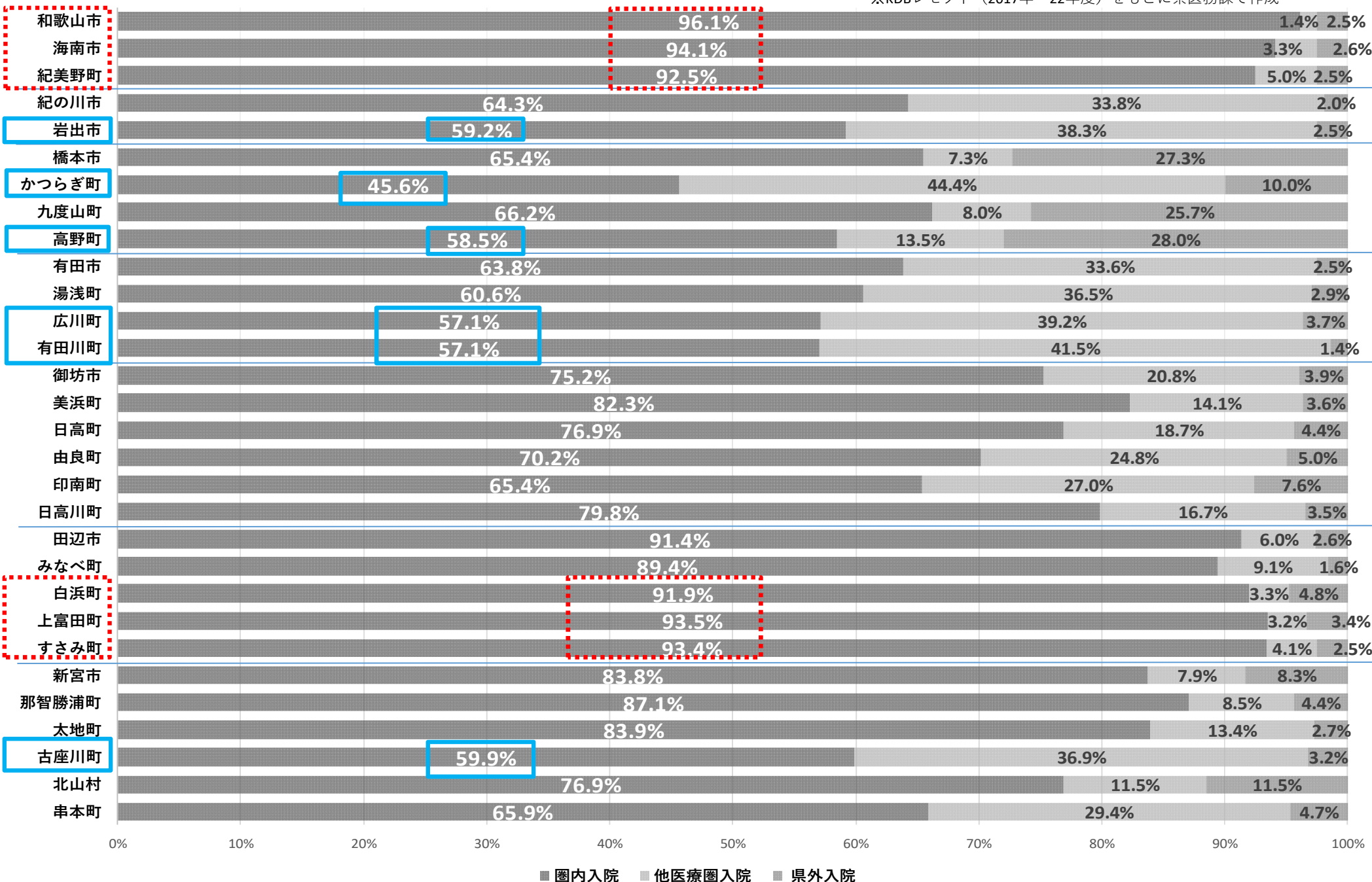
●ICD-10基本分類における割合が9.6%（4位）

【全体割合5位】

内分泌、栄養及び代謝疾患における入院先医療機関の医療圏割合

未確定

※KDBレセプト（2017年～22年度）をもとに県医務課で作成



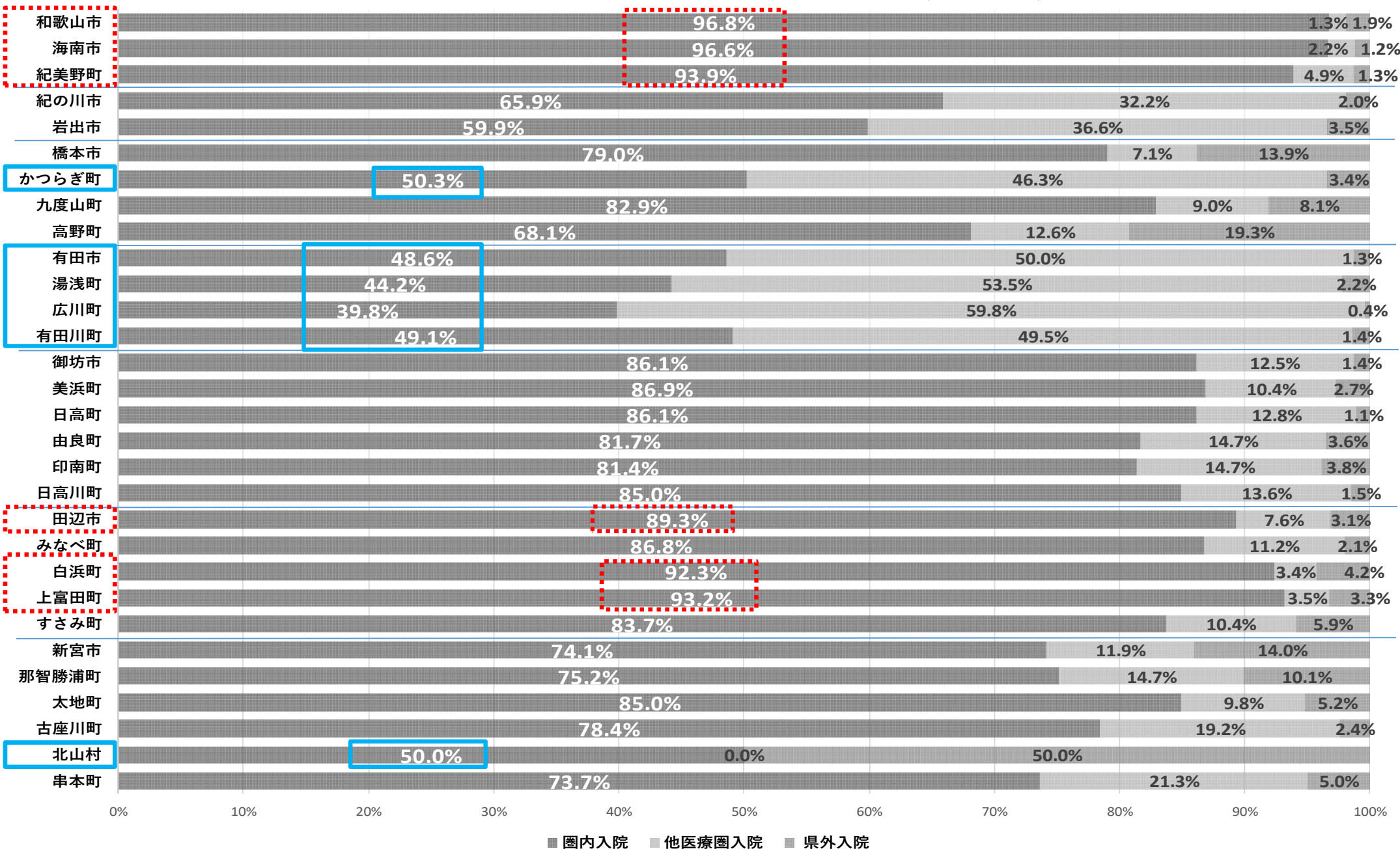
●ICD-10基本分類における割合が7.5%（5位）

【全体割合6位】

呼吸器系の疾患における入院先医療機関の医療圏割合

※KDBレセプト（2017年～22年度）をもとに県医務課で作成

未確定



●ICD-10基本分類における割合が6.2%（6位）